

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2020年9月29日
作成 高齢者支援センター	堺2
作成者	柳原 順子

1.開催日時	2020年9月15日	(火)	18:30	～	20:30
2.会場	小山市民センター ホール				
3.主催センター	堺2	・	0	・	0
4.参加人数	30人				
5.参加者内訳	☒ 高齢者支援センター 7人 ☒ 医療と介護の連携支援センター 6人				
	☒ 医療関係者 7人 (うち、医師 1人) ☒ 介護事業者 6人				
	☐ 民生委員 人 ☐ 老人会 人 ☐ 住民 人				
	☐ 町内会自治会 人 ☐ 警察 人 ☒ 行政 2人				
	☒ その他 (訪問マッサージ事業者 南多摩保健医療圏地域リハビリテーション支援センター)				
6.開催テーマ	パーキンソン病の方を早期からどのように地域で支えていくか				
7.地域課題	(1) 課題設定の背景 パーキンソン病の有病率は一般的に1000人に1～1.5人、60歳を超えると約10倍に上がるとも言われている。後期高齢者の有病率のデータはあまり無いが、町田市及び堺第2のKDBデータから見ると約3%前後である。当センターのプラン作成件数の1割以上がパーキンソン病であり、プラン作成対象者としての比率は上昇傾向にある。今後も増加していくことが予測され、その為パーキンソン病の患者支援の検討を行うことが急務であるとする。 (2) 検討した地域課題 現役世代に発症され、その後比較的緩やかに進行されることも多い中、病気や治療・利用できる制度等について、相談できる人や場所がはっきりせず、困られた経験のある方が増えている。また、支援者側では、病状の進行に応じた対応や、さまざまな制度の活用について、不安に感じていることが、アンケート結果で明らかとなっている。パーキンソン病患者の相談体制を整備していくことが必要と考える				
8.会議の内容	1、開会の挨拶 2、趣旨説明および事前アンケート結果説明 ◎堺2エリアにおける基礎データ ◎支援者視点でのアンケート結果 ◎利用者支援でのアンケート結果 3、事前アンケートに対するコメント（事前質問に対する回答含む） 4、グループワーク～パーキンソン病の方を早期からどのように地域で支えていくか 5、総評 6、閉会の挨拶				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	1、パーキンソン病の方の集まる患者会・自主グループ・家族会などがもっと身近にあれば、当事者同士での情報共有ができるのではないかと。 ～現在そういった場が身近には存在しないので、当事者のニーズも踏まえつつ、場づくりを行っていくことを検討していく。 2、パーキンソン病に関する情報を集約し、発信していく必要があるのではないかと。 ～PDケアパス（仮）に修正を加え、専門職が情報を得やすくなるように検討していく。 3、上記1、2について、今後さらに広く専門職からの意見集約が必要となった場合は、再度地域ケア推進会議開催、もしくはワーキングチームでの検討等により、具現化を目指していく。				